

主な花材



テーマ 2026 迎春

五葉松

(和歌山県産)

松葉が5本で一房になっていることから、五葉の松、そこから五葉松の名がついたと言われています。五葉松は「御用待つ」という語呂から、「仕事を待つ」、「良い仕事が舞い込みますように」という願いを込めて、縁起物として贈り物やお祝いの席にも用いられます。

花言葉：不老長寿、永遠の若さ



垂柳

(京都府産)

垂柳の花言葉である哀愁という花言葉は、枝が垂れ下がり、風に揺れる様子がどこか物悲しさを感じさせることに由来していると言われています。一方、「希望」という花言葉は、しなやかな枝ぶりと、環境適応力の高さから来ているそうです。

花言葉：哀愁、希望



マム アナスタシアグリーン

(福岡県産)

菊の改良品種で、細長い形状の花びらが特徴です。アナスタシアの語源は古代ギリシャ語で”目覚め、復活”の意味合いがあります。

花言葉：高貴、高潔



ピンポンマム（白）

(愛知県産)

名前の由来は、花の姿がピンポン玉のように見える菊（マム）という意味から付けられました。

花言葉：真実、高貴



千両

(和歌山県産)

名前の由来は、赤い実の美しさが百金にも勝るということから付いたといわれています。

花言葉：富貴、富、恵まれた才能



金柑

(和歌山県産)

金柑は年に3回白い花を咲かせます。太陽の光にあたると金色に見えたことから、「金」色の「柑」橘でキンカンという名がついたと考えられているそうです。

花言葉：思い出、感謝

